

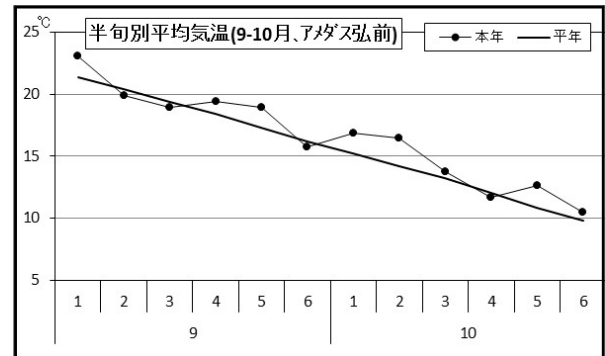
農作物の生育状況（11月1日現在）

中南地域県民局地域農林水産部

1 気象

10月1～31日の平均気温は平年に比べ1.1℃高かった。降水量は平年比200%、日照時間は平年比110%となった。

10月1日の台風24号及び7日の台風25号による被害は、ほとんどなかった。



2 水稻

刈取は全体的に遅れ、管内の刈取終りは平年より4日遅い10月16日となった。

生育観測ほのつがるロマンの平均収量は531kg/10aで平年(587kg/10a)を大きく下回った。

国が発表した10月15日現在の水稻作況指数は、津軽は100、県全体は101でいずれも「平年並」となった。

3 大豆

収穫は10月20日頃から始まり、例年並の11月中旬に終了する見込みである。

4 りんご

ふじの肥大は11月1日現在、弘前市独狐では8.6cmで平年をやや下回り、平川市金屋では9.0cmで平年を上回っている。

有袋ふじ、王林の収穫が最盛期となっており、無袋ふじの収穫が始まった。

5 ぶどう

生育観測ほ（弘前市石川）のスチューベン収穫は平年より6日遅い10月25日で終了した。

収量はほぼ平年並となっている。

6 トマト・ミニトマト

トマトは、最終花房の落花が多かったことで、例年より早く収穫を切り上げるほ場が多く、出荷は11月10日頃で終了する見込みである。ミニトマトは、残り2～3段程度残っており、出荷は例年並の11月15日頃まで続く見込みである。

7 高冷地野菜

秋にんじんの収穫は、計画的に行われており、出荷は例年並みの11月上旬に終了する見込みである。

8 トルコギキョウ

7月定植の収穫は、例年並みの11月上旬で終了する見込みである。